



平成27年4月6日

各 位

会 社 名 株式会社コーエーテクモホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 襟 川 陽 一  
(コード番号 3635 東証第一部)  
問合せ先 専務執行役員CFO 浅 野 健 二 郎  
(TEL 045-562-8111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月1日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 連結業績予想数値の修正

平成27年3月期連結累計期間（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	38,000	8,000	11,000	7,000	80円58銭
今回修正予想 (B)	37,600	9,300	13,200	9,300	106円80銭
増減額 (B - A)	△400	1,300	2,200	2,300	—
増減率 (%)	△1.1	16.3	20.0	32.9	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	37,576	7,140	10,728	6,936	79円86銭

### 2. 修正の理由

家庭用ビデオゲーム「戦国無双4-II」(PS4、PS3、PS Vita用)、「DEAD OR ALIVE 5 Last Round」(PS4、PS3、Xbox One、Xbox360、STEAM用)、「100万人」シリーズや「大航海時代V」などの既存の主力ソーシャルゲーム及びイベント関連が順調な動きとなりました。さらに、任天堂株式会社とのコラボレーション「ゼルダ無双」(WiiU用)の全世界出荷数が100万本を突破したほか、当社グループにて開発を担当し株式会社スクウェア・エニックス発売の「ドラゴンクエストヒーローズ 闇竜と世界樹の城」(PS4、PS3用)も好調に推移しております。

家庭用ビデオゲーム及びスマートフォン向けアプリの一部新作について、さらなる品質向上のために発売・サービス開始時期を平成27年4月以降に延期したものの、ダウンロード販売など利益率の高い売上が増加したことに加え、独自開発ツールの活用、費用対効果を徹底したマーケティング展開など継続的なコスト低減に努めました。さらに、円安、株高等を背景に金融収支も大幅に向上した結果、売上高は当初予想を下回るものの、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初予想を上回ることとなりました。この結果、売上高は2期連続の増収、営業利益、経常利益、当期純利益は5期連続の増益となり、経営統合以来、最高の業績となる見通しです。

#### [業績等の予想に関する注意事項]

業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上